

各位

「国鉄闘争連帯カンパ箱」の取り組みのお願い

国 鉄 労 働 組 合
中央執行委員長 佐藤 勝雄
国鉄闘争支援中央共闘会議
議 長 中里 忠仁

日頃から、国鉄闘争にひとかたならぬご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。

国鉄闘争も20年目を迎え、国労ならびに36闘争団全体が政治の責任による早期全面解決を求め、現在、全力をあげて諸行動を取り組んでいます。

昨年9月15日の「鉄建公団訴訟」判決等を見たとき、ILO勧告が示すように「関係当事者の話し合いによる早期解決」が求められています。

20年に及ぶ長期闘争のなかで、すでに1047名のうち、41名(国労35名)が亡くなり、疲労やストレス、慢性疾患などから困難な闘病生活を強いられている長期療養者は後を絶たず、一方の重い現実をつくりだしています。

つきましては重要な局面を迎えた闘争団員をはじめ1047名の闘いを財政面から支えるため、DLR基金(傷病災害救援基金)、子弟の就学援助基金とあわせ、年内、年度内の闘争団上京行動費等を助成するための「カンパ箱」の取り組みを全国一斉に進めたいと考えます。

ぜひとも趣旨をご理解のうえ、ご協力いただくようお願い申し上げます。

記

名 称 『国鉄闘争連帯カンパ箱』

取り組み方法 (1)組合、団体等の事務所、各職場まで広く『国鉄闘争連帯カンパ箱』を広めていただきますようお願いいたします。
(2)カンパ箱は来年3月まで継続して取り組むことにしておりますが、ある程度集まりましたら、『カンパ箱』を開けて頂き、別紙郵便振替用紙でご送金いただくか、地元の国労機関にご連絡下さい。
(3)『カンパ箱』の他、郵便振替用紙をお届けいたします。
(4)入金後、領収書等をお送りさせて頂くと共に、団体名、金額等について公表させていただきます。(匿名希望の方はお申し出ください)

事 務 局 国鉄闘争連帯カンパ実行委員会事務局
(03 5403 1646 FAX03-5403-1644)

以上